

株主の皆様へ



■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第78期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 黒田浩史

■当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米においてワクチン接種の進展により経済活動が活発化したこと等から堅調に推移しました。一方、半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルス感染再拡大による一部の国と地域での厳しい活動制限の影響、素材の調達不安、部品供給不足、輸送費の高騰等、先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況下、当社グループにおいては主要顧客である半導

体市場に加えて自動車や家電向け金型システム商品の需要が堅調に推移し、受注高は10,074百万円(前年同期比4,498百万円、80.7%増)と大幅な改善となりました。売上高は駆動システムの増産が寄与する等の要因から、8,120百万円(前年同期比1,697百万円、26.4%増)と受注高の増加には及ばなかったものの増収結果となりました。

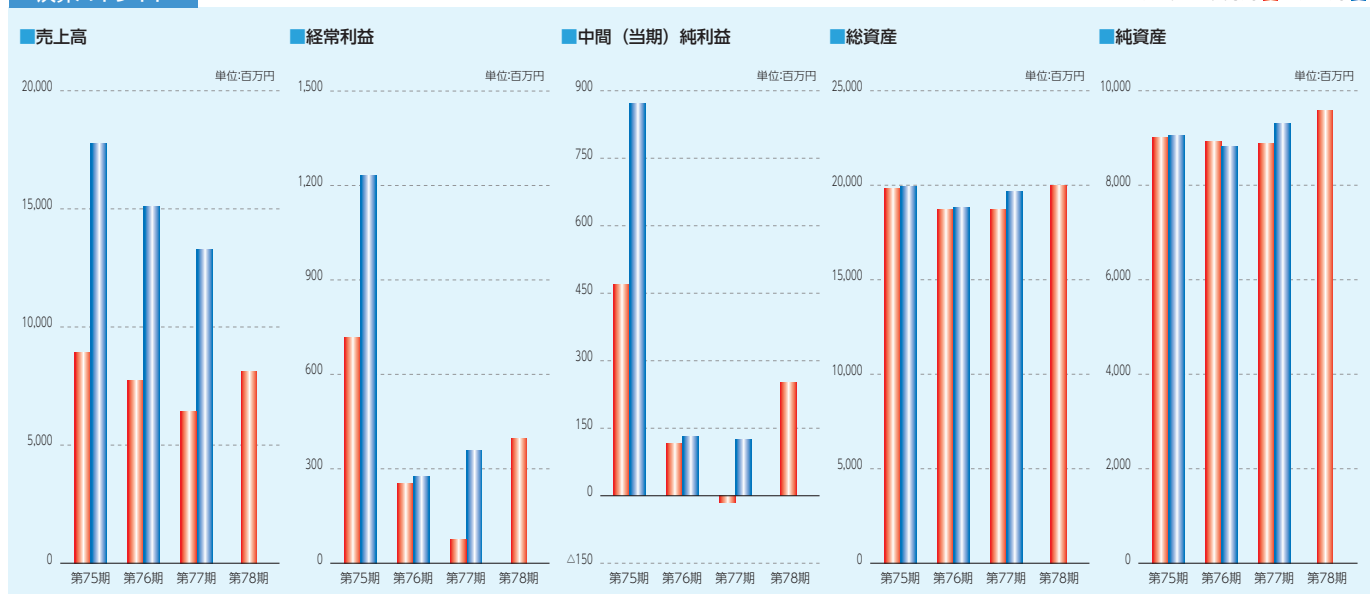
利益面に関しては、増収効果が寄与して、営業利益は397百万円(前年同期比287百万円、261.4%増)、経常利益は397百万円(前年同期比322百万円、428.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は252百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失15百万円)と大きく改善しました。

■通期の見通し

事業環境に多くの不透明な要素はあるものの、駆動システムおよび金型関連を中心に高水準な受注残を抱えていること、ならびに今後も半導体や車載モーター分野での堅調な受注が続くと見込まれることから、売上高17,700百万円、営業利益880百万円、経常利益850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円と業績を予想しております。

期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり25円と期初の予想を上方修正いたしました。株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。

決算ハイライト



■ 駆動システム

当セグメントでは、半導体製造装置・各種分析関連装置分野向けを中心に高水準な受注が継続し、受注高は5,324百万円（前年同期比3,084百万円、137.7%増）と大幅に増加しました。受注高の増加には及ばないものの、生産体制増強に努めた結果、売上高は4,088百万円（前年同期比1,306百万円、47.0%増）となり、営業利益は530百万円（前年同期比494百万円増）と大幅な増収増益となりました。

売上高 **4,088** 百万円

■ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーター向け金型の受注増加と家電用モーターコア等の受注増加により、受注高は2,773百万円（前年同期比1,117百万円、67.4%増）と大幅な増加となりました。売上高は、新規大口取引先での量産開始の遅れと東南アジアでの新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けたものの、結果として2,578百万円（前年同期比457百万円、21.6%増）と増収となりました。一方、利益面に関しては新規プロジェクト向け先行投資負担が発生したこと等により、営業利益は72百万円（前年同期比17百万円、19.6%減）と減益となりました。

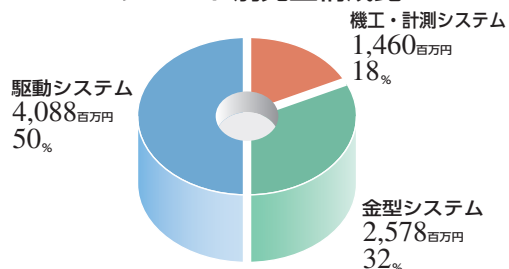
売上高 **2,578** 百万円

■ 機工・計測システム

当セグメントでは、工作機械等システム商品の緩やかな回復基調により、受注においては前年同期を上回ったものの、部品納期の長期化等の影響を受け売上が低迷しました。また収益面では、収益力の高い要素機器商品の主要市場である自動車分野やロボット向け減速機市場の回復遅れと連結子会社の業績不振の影響を受け厳しい状況が続きました。その結果、受注高は1,984百万円（前年同期比297百万円、17.7%増）、売上高は1,460百万円（前年同期比64百万円、4.2%減）、営業損失192百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

売上高 **1,460** 百万円

セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 新製品のご紹介

左右ねじアクチュエータは、駆動部に研削左右ボールねじ（同一のねじに左右両方向のねじを形成したもの）を使用することで、1台で左右対称往復運動を実現し、高速かつ正確な開閉や把持動作を行うことができます。従来2セット必要であったボールねじやモーターが1セットで済むため、部品点数、工数やコストの削減につながるほか、コンパクト・高剛性な形状で取り付け姿勢も問わないため、大幅なスペースの削減にも貢献します。高いセンタリング精度、把持力制御が必要な電子部品生産ライン、医療、自動車、ロボットなど幅広い業界へ豊富なオプションも取り揃え販売に注力してまいります。



左右ねじアクチュエータSE/SGシリーズ

■ 「匠」認定制度と準マイスターの誕生

2021年4月、技能者のスキルアップに向けたキャリア形成と意欲喚起を目的に、「匠」認定制度を新設いたしました。加工・組立・計測等、当社のものでつくりにとって重要かつ不可欠な技能の水準を明確にし、一定の基準を満たした技能者を「匠」として認定し処遇するもので、従来のマイスター制度に比べ、より幅広い層を対象とした制度という位置づけです。また、7月には当社では3人目であり、多能工としては第1号となる準マイスターががずさアカデミア工場で任命されました。ボールねじ製造工程全般にわたる深い知識と実務経験を活かし、製造プロセスの最適化に取り組み、生産性と品質のさらなる向上を実現してくれるものと期待しております。当社はこれらの施策を通じて、技能者の育成と次世代への技能伝承に取り組んでまいります。

■ 日刊工業新聞「これから伸びる首都圏のカイシャ2021秋」への掲載

2021年10月、日刊工業新聞東京支社発行「これから伸びる首都圏のカイシャ2021秋」において、高い成長可能性を秘める有望企業として、当社が掲載されました。今後の事業展開や人財育成、多様な働き方への取り組みについて紹介されております。当社ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。今後も各種媒体を通じて、当社の事業活動を理解を深めていただけるよう情報発信をしてまいります。

■ 当社最高顧問黒田彰一を偲ぶ会

昨年逝去した当社最高顧問黒田彰一を偲ぶ会を去る9月6日に執り行いました。故人は当社創業者黒田三郎の急逝に伴い大学在学中に社長に就任して以来、先の大戦で存亡の危機に陥った当社を再建し、祖業であるゲージの技術を活かした新規事業を開拓し、上場企業として成長させました。また社外においても、各種ゲージの規格作りや工業会、技術振興財団等の活動や団体設立等を通じて、日本のみならず世界の産業界の発展のために尽力してまいりました。東京・帝国ホテルで挙行了った偲ぶ会には、新型コロナウイルス感染症への対策を講じる中、親交のあった多くの方々にご出席いただきました。ここに故人が生前に賜りました数々のご厚情に対しまして、心から御礼申し上げます。



黒田彰一を偲ぶ会（東京・帝国ホテル）

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 末 2021年3月31日現在	当第2四半期末 2021年9月30日現在
(資産の部)		
流 動 資 産	9,462	9,773
固 定 資 産	10,196	10,227
有 形 固 定 資 産	6,868	6,914
無 形 固 定 資 産	974	937
投 資 そ の 他 の 資 産	2,353	2,375
資 産 合 計	19,659	20,000
(負債の部)		
流 動 負 債	5,779	6,013
固 定 負 債	4,573	4,415
負 債 合 計	10,352	10,428
(純資産の部)		
株 主 資 本	7,190	7,397
資 本 金	1,902	1,911
資 本 剰 余 金	1,507	1,516
利 益 剰 余 金	3,788	3,977
自 己 株 式	△8	△8
その他の包括利益累計額	1,941	1,997
その他有価証券評価差額金	766	773
土 地 再 評 価 差 額 金	814	814
為 替 換 算 調 整 勘 定	301	350
退職給付に係る調整累計額	58	59
非支配株主持分	175	177
純 資 産 合 計	9,306	9,572
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,659	20,000

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日
売 上 高	6,423	8,120
売 上 原 価	4,896	6,033
売 上 総 利 益	1,526	2,087
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,416	1,689
営 業 利 益	110	397
営 業 外 収 益	51	84
営 業 外 費 用	86	85
経 常 利 益	75	397
特 別 利 益	139	16
特 別 損 失	171	22
税金等調整前四半期純利益	43	391
法人税、住民税及び事業税	10	161
法人税等調整額	51	△23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	253
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	252

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	488	1,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△692	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	130	△1,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	34
現金及び現金同等物の増減額	△77	426
現金及び現金同等物の期首残高	2,214	2,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,137	2,563

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■会社の概要

商号 黒田精工株式会社
 本店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
 創業 1925年(大正14年)
 資本金 19億11百万円
 従業員数 437名

■連結対象会社の状況

連結子会社

クロダインターナショナル株式会社
 クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)
 平湖黒田精工有限公司 (中国)
 韓国黒田精工株式会社
 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)
 Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)
 KURODA JENA TEC, INC. (米国)
 株式会社ゲーシング

持分法適用関連会社

日本金型産業株式会社

■当社グループの主要な事業

セグメント

主要製品

駆動システム

精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア

金型システム

積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア

機工・計測システム

保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、コンプレッサ

■株式の状況

発行可能株式総数 14,960,000株
 発行済株式の総数 5,683,150株
 株主数 2,438名

■所有者別株式分布状況

合計 5,683,150株

証券会社 1.49%

個人・その他 29.21%	外国 個人・法人 27.77%	金融機関 21.68%	その他国内法人 19.69%
------------------	-----------------------	----------------	-------------------

自己名義 0.13%

■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
パーカー ハネフィン マニュファクチャリング ユークー リミテッド	942	16.60
黒田 浩史	279	4.92
株式会社みずほ銀行	276	4.86
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	272	4.80
ファナック株式会社	196	3.46
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	196	3.46
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	178	3.15
株式会社日本政策投資銀行	171	3.01
ユーログループエスピーエー	168	2.97
株式会社横浜銀行	149	2.63

*持株比率は自己株式(7,538株)を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

定時株主総会・期末配当

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。

<https://www.kuroda-precision.co.jp/>

ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株式

特別口座に記録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。

株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16

TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524

<https://www.kuroda-precision.co.jp/>